原作 バンダイナムコゲームス
漫画 MAKOTO2号

2

# TALES OF PHANTASIA
# テイルズオブファンタジア

Kadokawa Comics A

# TALES OF PHANTASIA

原作 バンダイナムコゲームス
漫画 MAKOTO2号

2

# TALES OF PHANTASIA

テイルズオブファンタジア

Kadokawa Comics A

TALES OF PHANTASIA
テイルズオブファンタジア
2
原作 バンダイナムコゲームス
漫画 MAKOTO2号

# TALES OF PHANTASIA

## Contents


第6話 過去へ ——— 3
第7話 契約 ——— 33
第8話 少女 ——— 57
第9話 真実 ——— 81
第10話 デミテルの罠 ——— 107
第11話 葛藤 ——— 135
第12話 絆 ——— 169

クレス　ミント
君たちを100年前に
飛ばす
そこであのダオスを
退けた者をつれて
帰って来るんだ
え!?

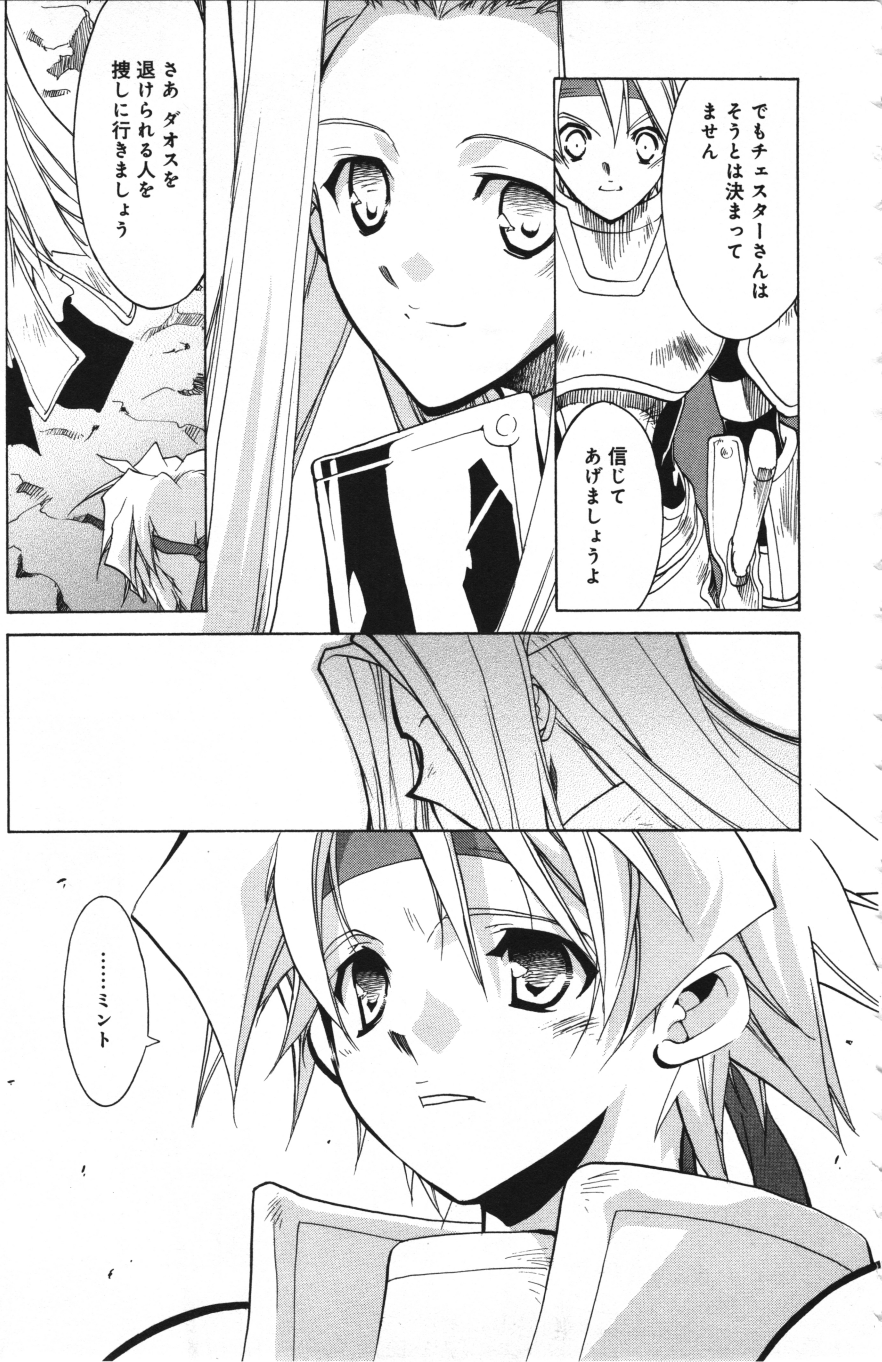
チェスター!!
チェスター?
頼んだぜ クレス
俺たちの村の仇は
あいつらしいからな
行くな
やめろ!!
フン!!

第6話 過去へ

!!
ガバッ

ミント
大丈夫？
ケホッ…
はいはい…
……ここは
本当に100年前なのか？
―チェスター

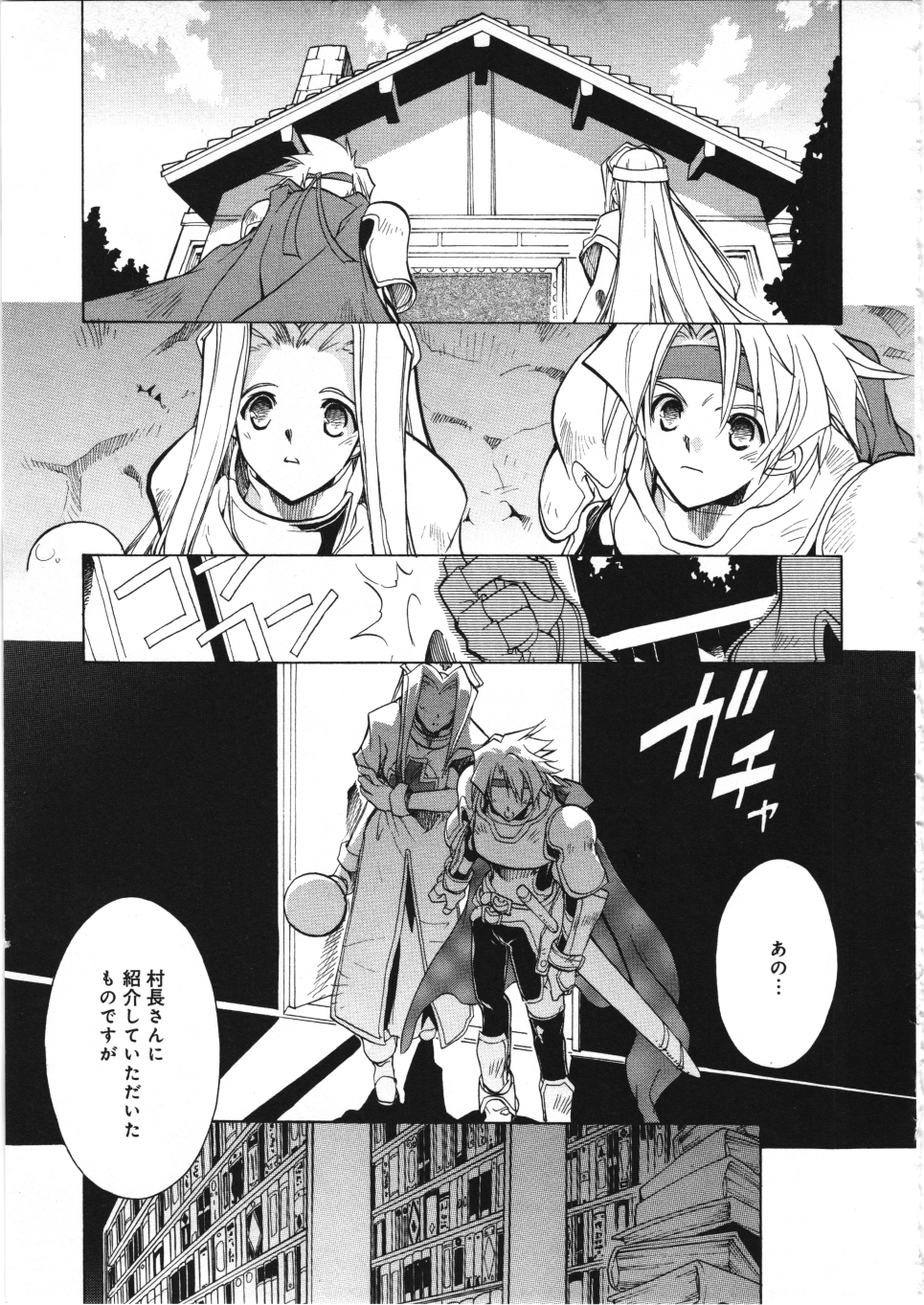
あの…クレスさん
私のお母さんのこと…
！
本当は知ってるん
ですよね？
お母さんの最期を
見たんですよね？
そ それは…
…やっぱり
大丈夫です 薄々
気がついてましたから


でもチェスターさんは
そうとは決まって
ません
信じて
あげましょうよ
さあ ダオスを
退けられる人を
捜しに行きましょう
……ミント

あった
村だ
あの…私たち
旅の者で……
人を捜して
いるんです

ホラホラ…
プッ…
アハハ
どうして彼女はあんなに強いんだろう
僕は未だに……
クレスさん！
わっ
村長さんに会わせてくださるそうですよ

未来から……
……のう
100年後には時間を飛べる魔術でもあるのかい
魔術？
ミントが使う法術と何か関係があるのだろうか？
…ダオス…
まあいい
それで目的は？
仇である
ダオスを倒すために
来ました


ガチャ
あの…
村長さんに紹介していただいたものですが

フフフ
おもしろいことを
言うのう
ゾクッ…
そうか 未来から
あの世界の災厄
ダオスを退治しに…
ヤツには
魔術しか効かないと
聞いている
!!
魔術の研究者を
紹介しよう
ちょいとクセが
あるがの
……?
まあ何より
時間も遅い
今晩は
うちに泊まって
明日いちばんにでも
会いに行きなさい
あ ありがとう
ございます

ギュッ
お母さん——

キャッ
ああ 君たちか
未来から来て
ダオスを魔術で倒すなんて
大風呂敷広げてる
やつらは
うっ
あなたが
魔術研究家の？
魔術受講料は
前金で
一万ガルドだ
!!
そんな大金
持ち合わせなんか…
じゃあ
出直しておいで
お嬢ちゃん
それと私は
「魔術研究家」と
いう名ではない
私はクラース

クラース・F・レスターだ

でもまあ
お嬢ちゃんが
かわいそうだから
話だけは聞くが…
そ その
呼び方やめて
ください
ふむ おかしいな
初対面で名も知らぬ
はずだが
あ……
クラース
またそんな
言い方して！
？
ごめんなさいね
この人中身が子供で…
な!!
ミラルド
子供とはなんだ!!

どうしてあなたは
がさつで思いやりがないの!?
この魔術オタク!!
また私を
侮辱したな!?
そもそもそれが
助手の言うセリフか!?
引きこもってるあなたの
子守りばかりじゃない!!
少しは人のために
研究成果を見せな
さいよ!!
この私がいつ
人のために使わないと
言った!?
へえ
やれるもんなら
やってみれば!?
あー
やってやるさ
よく見とけ!!

君たち
そこを動くなよ？
本来 人は
魔術を使えないのは
知っているな？
はい
エルフまたは
ハーフエルフでないと
その才能を持たない

だが理論的には
人でも可能なんだ
堅物の学会連中は
不可能と言ったが
精霊との
契約を交わせば
実現できる
精霊？
うむ 彼らと魔術は
共に同じ原力だ
すなわち
精霊たちの力を
借りて魔術を
行使するんだ
まだ使えない
けどね
いちいち
うるさい…
私の体に刻んだ
この研究成果で
精霊を従えて
魔術を手にする
その名も

召喚術

だが精霊たちは
未開の地に住むため
多大な危険が伴う
そこでだ
君たちが協力して
くれるなら……
私の召喚術を
君たちの目的のために
役立てようじゃないか
……え
ハハ やった
全力で協力します！
フフ……

私は大丈夫
しばらく帰ってこれないかもな…
帰ったら新作パイ焼いてあげるからがんばってらっしゃい
全ての物には霊が宿っているという
主に地 水 火 風に宿る精霊を四大精霊という

これからそのひとつ
風の精霊
シルフに会う

急ごう

ここは
ローンヴァレイ
この最も奥に
シルフがいる

ここには
荒らされないよう
精霊たちを見守る
管理者がいる
まずその者と
必要な話を
済ませる

邪魔するぞ
私は
クラース・F・レスター
風の精霊との
契約の挑戦にきた
あなたが
バートさんで
よろしいかな？
ああ 私が
管理者だ
話が早い
なけなしの金を
用意した
これで契約に必要な
ルーンリングを
譲ってくれ
ジャラ…
それは
しまってくれ
むしろリングを
譲るかわりに
頼みを聞いてくれ
!?

先日 地震があっただろ？
あの後から精霊が妙に騒ぎ出してな
様子を見に行ったわしの娘が帰って来ないんだ
娘さんが!?
特徴はポニーテールで
魔術が使える
!!
第6話 過去へ◆END

# TALES OF PHANTASIA

そのかわり先日の地震で
騒いでいる精霊たちを
見に行った娘を
見つけてきてくれ
シルフとの契約の
リングは渡そう
彼女はポニーテールで
魔術が使える
!!
名は
アーチェ

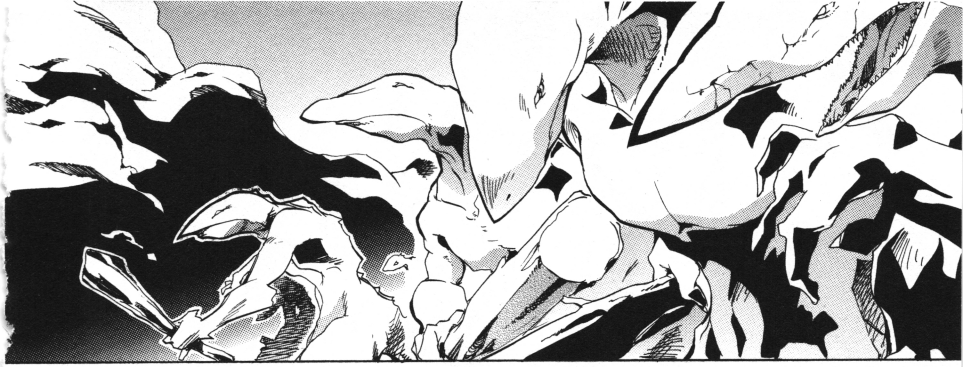
第7話 契約

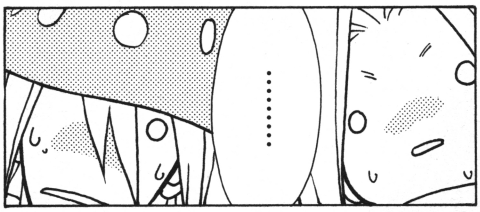
クッ どうして
こんなところに
モンスターが!?
どういうこと
ですか?
どうやら例の地震で
どこかに「穴」が
できたのだろう
そいつを塞がないと
シルフに会うどころ
じゃない!!
ドン

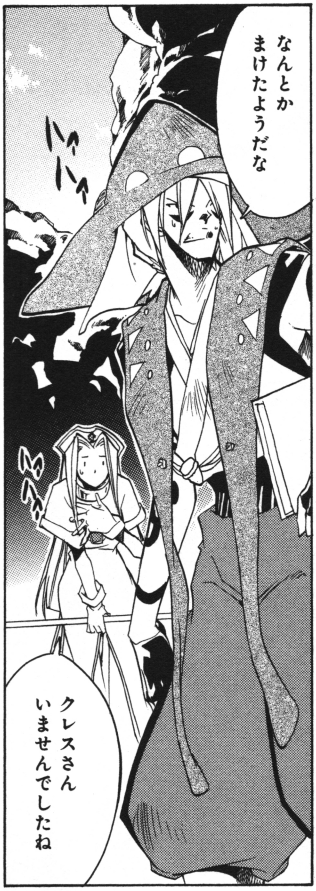
ボ
ッ
！
アシッドレイン!!
ジュウウ
き 君は魔術が使えるのか!?
魔術ではないのですが…

…ハハハ…
未来でも
法術が……
こりゃ
楽しくなって
きたぜ！

え
わあ
ゴオオオオオオオオオ
そうか モンスターの
せいで荒れている
精霊たちの仕業か
早くクレスさんを
追いかけないと
いや 私たちも
それどころでは
なさそうだ




……


なんとか
まけたようだな
ハァハァ
ハァハァ
クレスさん
いませんでしたね

……あれ？
もしかして
これが「穴」？
……ふん
おそらくこいつが
地震で崩れたの
だろう
え？
ク クラースさん
なにを……
無論 もとに
もどすのさ
モンスターを
これ以上
入れさせん
私たちだけでは
無茶ですよ！

せめてクレスさんがいないと
こんな大岩……
君にはそう見えても
私にとっちゃ軽いんだよ
!?
ドゴ
私には研究が……
そして故郷から追い出された
私を拾ってくれた村長や
一生うずくこの紋様を
喜んで刻みあってくれた助手がいる
クラースさん…
半生の血と汗と
たくさんの想いを
持っている私には

こんな小石
造作もない
ぉぉぉ!!
!!
穴から
モンスターが!!

危ない！
!?
クレスさん!!
ぬラララ!!
ズズ…
ズズズズ

ズバン
ぶう…
これでよし
残ったモンスターは
精霊が浄化する
だろう
クレスさん
どうやってここへ？
それが別れたところに
もどったらまた
飛ばされちゃって
偶然……
え!?

トッ
フワッ
？
キャッ
あ
あれは…!!

シルフ……!!

あなたがたが
助けてくれたのですね
まあ
そのリング
そして紋様から
感じられる
波動
心地いい
鳴子の音
人の身でよくぞ
召喚術を完成
させましたね
カラン

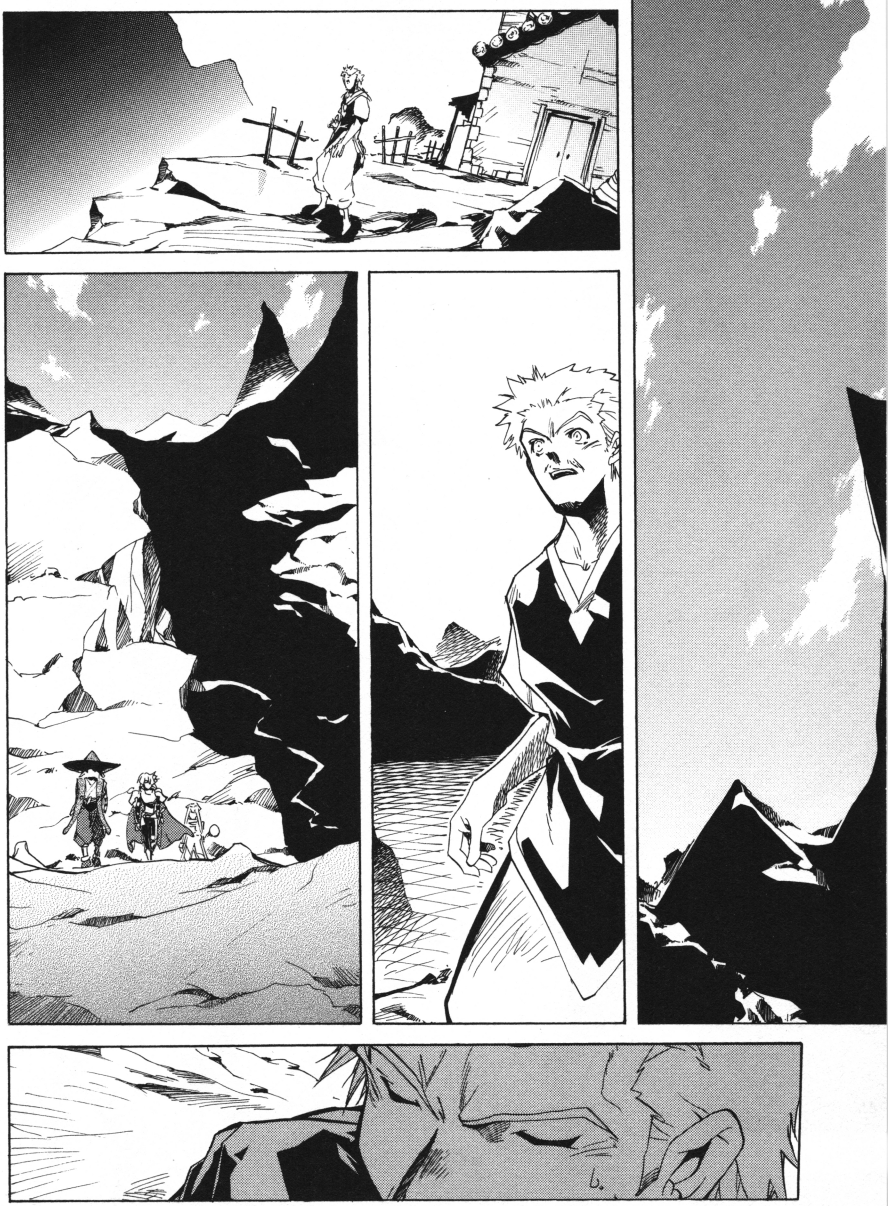
その類を見ない
情熱に敬意を表し
あなたの力に
なりましょう
ですが…
…なんだ？
今のままだと近い将来
召喚術が消滅する
可能性があるのです
!?
ど どうして
……話が
読めんな
原因はわかりませんが
我々精霊と魔術の
源である
〝マナ〟がこの世界から
失われつつあるのです

ハッ
それは
まさか……
!?
精霊の森に
生きる世界樹
〝ユグドラシル〟に
会ってください
あなた方が触れれば
何かが変わるかも
しれない

あ
この谷に少女がひとり
迷い込みませんでしたか？
いえ
この数ヶ月間
谷を訪れたのは
あなた方
だけです
……
……では
契約を
結びましょう
ザッ

ゴオオオ
我 今 風の精霊に
願い奉る
リングの
盟約のもと

我に精霊を
従わせたまえ



クラース君
やったようだね
谷がもとに
もどっている
バートさん
娘さんの
ことだが
谷には行って
ないらしい
なんだって!?
シルフが
言うんだ
間違い
ない
では あの子は
どこに……
心配いりませんよ
?
私たちには
クラースさんという
誠の強さを持つ人が
いますから

必ずアーチェさんを
見つけ出してみせます
ああ
ありがとう

我が娘アーチェを
捜してくれ
頼む…

クレスさん
そろそろ
出発しましょう
ふむ この天候なら
日が落ちる前に
ハーメルの町で
一息つけそう
だな
久しぶりに
手の込んだ夕食に
ありつくとしよう

第8話 少女

ここが
ハーメルの町…

クレスさん
…クレスさん？
あ…
おい二人とも
生存者がいるぞ！

よく助かったね
ここで一体何が？
……デミテルが…
デミテル？
この町を襲った魔術師でパパの弟子なんです
!!

旅の方ですよね？
ああ
もしよかったら
手を貸してもらえ
ませんか？
こんな悲劇
二度と起こさない
ためにも……
仇討ち
か…
気持ちはわかるが
私たちは先を急ぐ
身でな…
僕は
手を貸すよ

ク クレス
ただでさえ
アーチェって娘を
捜しているのだぞ？
！
ごめんなさいクラースさん
私も見捨てたら絶対
後悔すると思います
…ありがとう

申し遅れましたが 私
リア＝スカーレットと言います
なるほど
君たち二人とも村と両親を…

100年前に来て こんな
めぐり合わせとはな
神もとんだ
皮肉屋だ
それと…アーチェさんの
情報は一つも…
……
そうか じゃあ
船を探さ
ないと
離れ小島に
ある洋館だ
そうです
おかえり
ミント
やっぱり町が一つ
無くなったので
大騒ぎでした
でも何とか
デミテルの根城の
目星がつきました

少し話してきます
――リアさん……
!?

クレスさん
まだ休まれ
ないんですか？
？
……僕は時々
ここが現実か幻想か
わからなくなる
両親を亡くして
故郷を無くして
こんな不安定な
僕が
このまま
旅をして
大丈夫なの
だろうか…

クレスさんだけじゃありません
わかりますから私も…
…わかりますから

ふむこの穴から屋敷に入れそうだ
ハハイ まだ体が慣れてなくて…
だ大丈夫ですか？
えっと…
ほ本調子じゃないってことです…
？
怪しいな誰もいない

ボコ
ボコ
護衛もなく
黒鎧のように
モンスターを
飼ってるわけでも
ない…
!!
ボコ

しまった
植物をモンスター化させているとは
くっ…
ディープミスト!!

ありがとう ミント
これで身を隠せる
!?
ボコッ
ぐあっ
何で居場所がわかるんだ!?
これは推測だが
ヤツの根が私たちの動く振動を感じているんじゃ…
ボカ
くっ それなら…
そうか 壁なら気付かれにくい!!

鳳凰天駆!!
ボッ

ガチャッ
トッ
トッ
フフ 物騒な客人だ
お前がデミテルだな？
ギィ…

……いかにも
町の人々と
リアの両親の仇！
覚悟しろ！

ガチャッ
トッ
トッ
フフ 物騒な客人だ
お前がデミテルだな？
ギィ…

……いかにも
町の人々と
リアの両親の仇！
覚悟しろ！

ザッ
なぜスカーレット夫妻のことを…
それにあの方を師と仰ぐ私を仇呼ばわりするとは
侮辱するにも程がある！
…え？
おまえたち どこでその話を聞いた？
正直に吐くなら見逃してやろう
リリア これはどういうことだ？
リア？
ふざけるな！
その娘のどこがリアだと言うのだ!?

なん…
だって!?
そもそも
師の娘リアは
事故で
亡くなっている
!!
それじゃあ
この娘は…!?

バカな!!
私が師を手にかける
ものか!!
それに師の娘リアは
事故で死んだ
その子供で
あるはずがない!!
なんだって!?

まさか おまえたち……
師匠を殺めた者の
関係者だな？
師を狙い
次は私か……
生かして
おけん!!

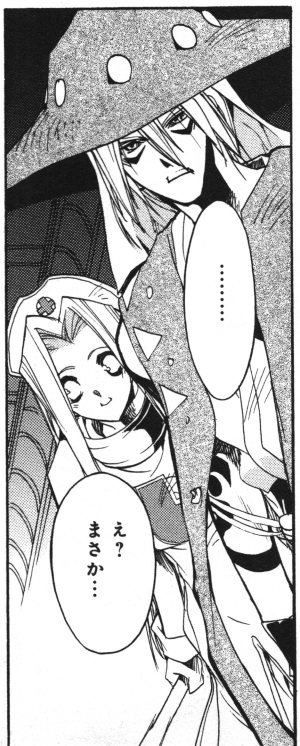
第9話 真実

ヘルジェム!!
ぐあっ
逃げるとはおろかな！
そんな覚悟で私に向かってくる気だったのか!?

私を甘くみるのも大概にしておけ!!
サモン
デーモン!!
フォオオオオ
!?
消えた!?

一時的に
隠れたにすぎん
策を練らんと…

リア これは
どういうことなんだ
どうして何も
言ってくれない？


……
え？
まさか…

声を封じられている!?
ということは!?
ゴゴゴゴゴゴゴゴ
でかいのが来るぞ!!
ズズズズズズズズ

ぐあああああっ!!
ガラガラガラガラ
ドサッ
とらせてもらう
!!
師匠の仇……

リア!!
ドン
クッ そうか
おまえからか
いいだろう…
望み通りに
してやる!!
バッ

クレス!!
何をして……
?

!?
やはり以前戦った黒鎧と同じだ……
おまえはダオスに操られている
つまりリアの父や町を葬った張本人……
だからどうした

なぜリアの父を…
町を襲った!?
フフフ…
授かったダオスの力に
慄いて師匠が……
いやクソじじいが
私の才能を止めようと
するからだ
あの町は
皆じじいを
慕っていたから
実に気分が
良かったな

君たちにも
見せたかったなぁ
何も知らずに
死んでいく
あの間抜けな顔
ドゴッ

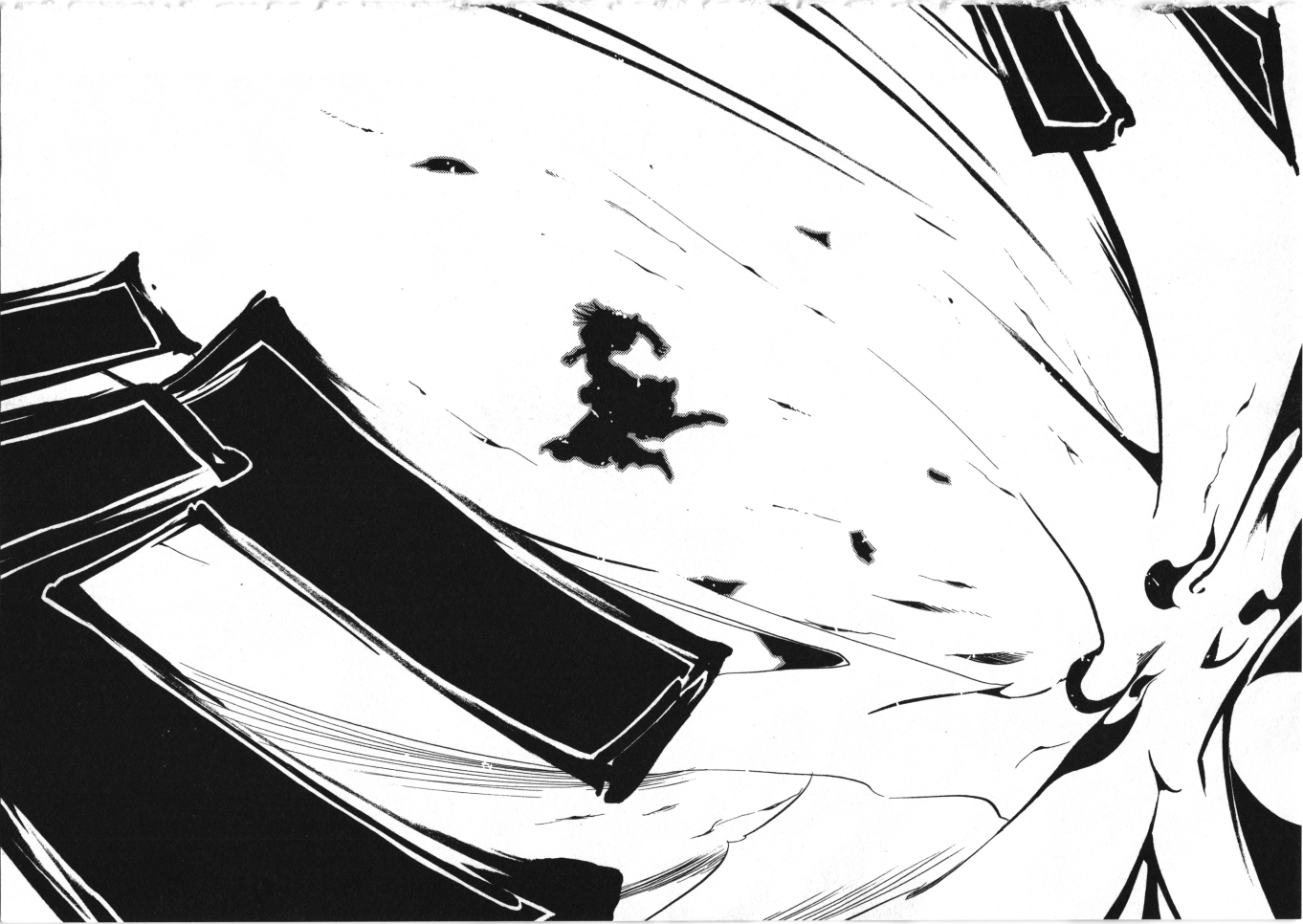
うあああああ
師匠の優しさを踏みにじって…
そんなくだらない理由で!!
ジュウウウ
優しさ
そんな歪んだもの必要ない

愛だの夢だのに
汚された全ての生物を
浄化して
天涯孤独の私には
世界の真実が
見えている
ウウウ
私がダオスと共に
本当の世界を取り戻す
耳障りだ
外道
！

だがこれで思う存分
やることができる
同じ術でも
想いの違い……
とくと味わえ
ゴゴゴ

だから舐めてもらっては困ると言っているのに
私の力は町を一つ消せるんだ
どうだったか知りたいだろう？
――シルフ
!?

わ 私の魔方陣が粉々に……!!
こ これは!!
精霊の風!?
地獄(あっち)で十分償ってくるのだな



……わ
私は
ただでは消えん!!

…終わったか？
クレスさん
大丈夫ですか？
ああ…
ふう
一段落
みたいだな

ボッ
!?
本当の悪夢を
見るがいい!!
ミント!!
があっ!!

バサッ
!?
リア!?
おい
大丈夫か!?

ここれでやっと…
両親のもとへ行けます……
な何を言って……!?
リア!?

# TALES OF PHANTASIA

皆さん
ありがとうございます
これで両親のもとへ
行けます
リリア!?
!?

# 第10話 デミテルの罠

スゥ
い 今のは いったい……
!?
うわっ!!

……うう
よかったね リア
無念が
晴らせて……
わ わけが
わからん!!

お父さん
ただいまー!!
そこで待ってて
お礼がしたいの
?
あ
クレス!
それじゃ
僕たちは
この辺で……
心配させやがって
この……
おまえ 今まで
どうしてたんだ!?
ア アーチェ!!

なあ クレス
話を整理したいんだが
すでにリアという娘は亡くなっていて
その魂が友人であり我々が捜していたアーチェという娘に憑依していたということか？
ええ 僕たちはリアと話しアーチェと行動をしていたみたいですね

まあ リアの仇討ちも
アーチェの捜索も無事
完了したわけだな
？
結局 死してなお
一人の女の子が頑張って
いたと思うと……

!?
ゴゴゴ
えっ？ えっ？
キ
このバカ娘!! 何も魔術をぶっ飛ばさなくてもいいだろうが!!
ゲホゲホ
いつも感謝と恩返しを忘れるなってお父さんが言ってたんでしょ!?
トッ
お父さんのわからずや!!
そ……それはそうだが……

あたしは絶対
三人の旅に
ついていくの!!
!?
だめだ 僕たちは
あのダオスを追って
いるんだよ!?
もう君には
関係ない
そんなこと
ないっ!!
家に送ってくれる時
クレスが話して
くれたでしょ
デミテルは以前倒した相手と
同じダオスの息が
かかってたって
つまり親友(リア)を失ったのは
ダオスのせいでもあるんだから!
それに
もし あたしが
このまま何も
しなかったら

いつか天国で
リアと再会した時
あたし どんな顔
すればいいの？

どうか娘を連れて行ってはもらえないだろうか？
……
道中こいつの魔術はきっと役に立つ
お父さん……

長い旅になる 忘れ物はしないようにね
ワンッ
アーチェ……

ガッ
キン
くそ
雑魚が多い
アイス
トーネード!!
うわぁ!!

……からのぉ
イラプション!!
キラ
フッ
オオオ
モンスターを跡形もなく……
ムチャクチャだな

やっぱり
モンスターには
先手必勝でしょ!?
なんだか明るく
なりましたね
ねぇねぇ
初めて見た時から
気になってたん
だけど
……?
ガミッ

二人は
つき合ってるの？
かあ
あ
つ つき合っては
いません!!
わあ こんな
赤くなっちゃって
照れてんの～？

それにつき合ってはって
なに？ はって？
別に何でも
ないですって!!
あやしいなぁ
このこの～
はぁ…
私は先に
行ってるぞ
あ え？
クラースさん!!
クレスさん
大丈夫ですか!?
ううん
なんともないよ

や 夜分遅く
ごめんなさい
こんな時間に殿方の
部屋にくるなんて
はしたないのですが
キッ

ガチャ
少し聞きたいことがあって……
あのこの間……
!!
…あぁあの私……

!!
クレスさん!!
……やっぱりこれは
あの時のデミテルの攻撃のせいじゃ……

ここは……
ミントたちは
どこだろう…
?
!!

ここは
トーティスの村!?
!?
ハア? 悪い夢でも
見たようなこと
言うなよ
ど どこって
この村が襲われて
仇を取る旅に……
お クレス
おまえどこへ
行ってたんだ?
おじさん
おばさん!!
ああ! お兄ちゃん
また狩りに失敗して
手ぶらだぁ
シシシ 言いつけて
やろー!

オレの息子ながら
なさけない
父さん
母さん……!!
まあいいじゃない
そろそろお昼に
しますよ
クク……
おまえの体
もらうぞ……

クレスさん!?
キャッ!!
ミント しばらく こうしていてくれ
!?

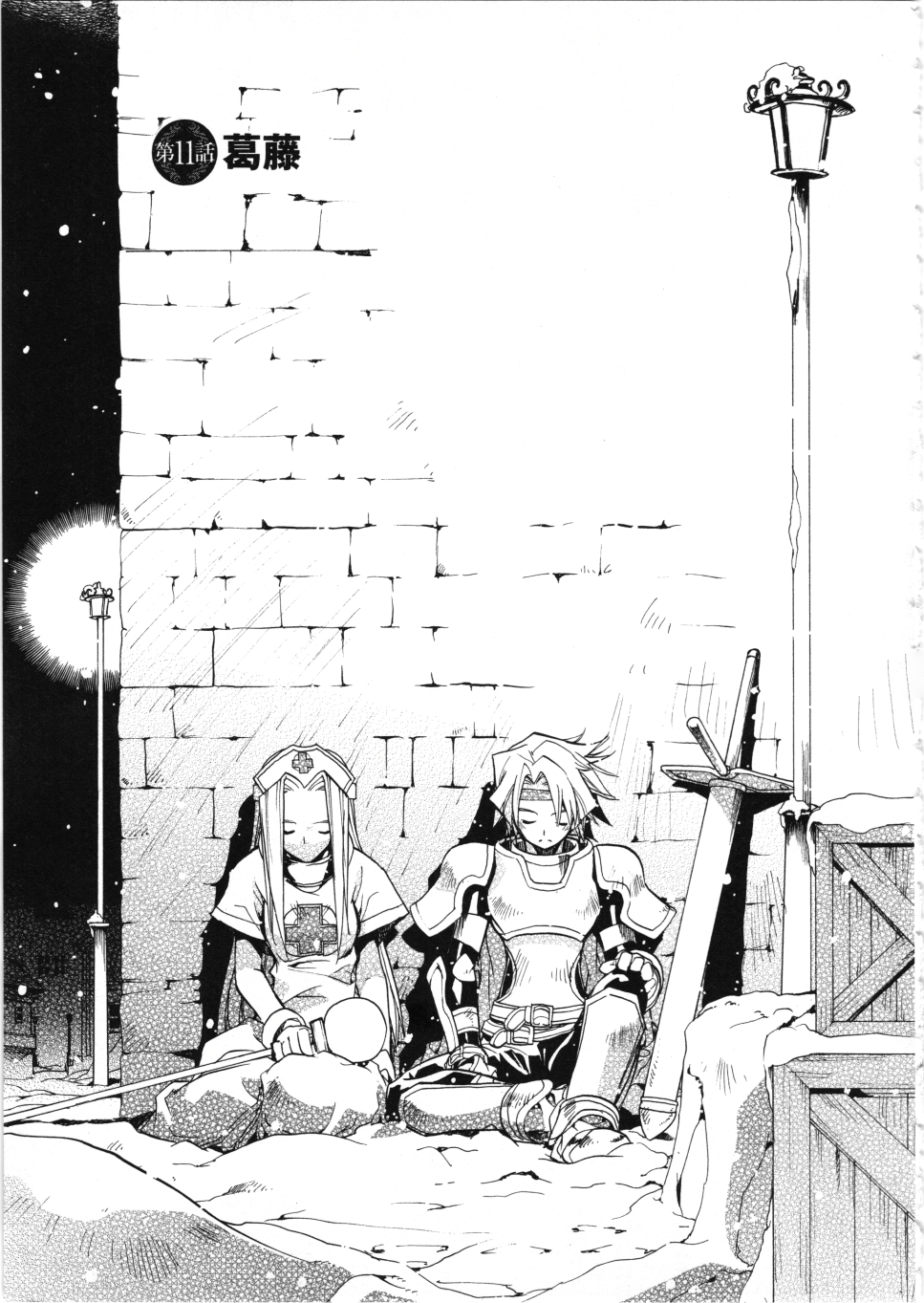
……クク
ククク
ククレスさん
いったい…!?
スッ…
騒ぐな……
騒ぐと
殺す

# TALES OF PHANTASIA

騒ぐな
騒ぐと殺す
ゴクッ…
……その　声は…

まさか クレスさんに
乗り移った……？
でも どうやって……
ダオスの力を
持ってすれば
造作もないことだ
キィィッ
クレス
おまえ何を…

い 今の音はクレスたちの部屋!?
ガッ
ズン
タッ
タッ
タッ
バン!
!?


第11話 葛藤

え!?
気をつけてください！
この人はクレスさんではありません！倒したはずのデミテルです！
!?
ど どうやらデミテルの魂がクレスにとり憑いたらしい
そんなどうして…
ククク…

この体は
もらった
おまえたちに報復
するためにな
ここでお前たちを
始末したら
私は各国を
制圧する旅に出る
そしてダオスと共に
世界に君臨するのだ
いえ そうは
させません

ミント!!
?
チッ!
アシッドレイン!!

チッ
小癪な
ハハハ
クレスさんを
返してもらいます!!
フフ……
それで
どうする?
この助け合った
仲間の体に傷を
つけるとでも?
……

クレスさん!!
デミテルに負けないで!!
ククク無駄だよ
ヘルジェム
キャアア!!

呼びかけても
届かないよ
彼の精神は
心の奥深くにいる
それとヘタな
抵抗はよせよ
何せこっちには…
チャン
人質が
いるんだ
何て卑怯な
ヤツなの！
ククク やっと
楽しくなってきたよ
じわじわ
いたぶってやる
ハハ
アハハハ

アハハ

さあ
ウォーミングアップは
ここまでとして
この体で全力を
出してみるとしようか

ククレス
さん……

以前やったように
この町も壊滅させる
……とかね
!!
故郷の村の仇を
取ろうとする
この体で
町を壊滅させる
なんて
ククできすぎてて
実に愉快だな
――君たちは
そう思わないかい？

やれるものなら……
やってみろ
クレスの精神がお前を引きずり出した一瞬に

私たちが
葬ってやる
残念だが
その必要はない
今の彼には
在りし日の故郷に
いるという夢を
見せている
もう
帰ってくる
こともない
だろう
な
なんですって…？

ナァァァァ
トポポ
夕食の準備ができたぞクレス
さあ これを食べて明日の狩りは大物を仕留めてちょうだいね
ありがとう父さん 母さん
クレス 狩りはどんな攻め方をしてるんだ？

え そりゃ
父さんから教わった
通りさ
獲物を挟んだ
向こうに石を投げて
音を立てて……
あ でも
僕には……
!?
母さん……
いつも僕はひとりで
狩りに行って
たっけ？
ひとりって
どういうこと？
なぜか
誰かといたような
気がするんだ……
あれ でもさっき
村に帰って来た時は
ひとりだったっけ…？
ハハハ

この間もらった
イノシシの一撃が
効いてるのかな
少し 診てもらった
ほうがいいかしら……
なんて
!
!? クレス
大丈夫？
……い
いつも僕は
その相手の…弓で…
イノシシをおびき寄せて
もらって……
それから……
!!

その話は
やめなさい
さあ 料理が
冷めるぞ
ドクン
ドクン
ドクン

何だ？
クレスの精神に
変化が!?
！
クレスさん
返事をして
ください！
あなたは今
幻覚を見せられて
いるの!!
うるさい!!
無駄だと言ってる
だろう!!
このクレスという男は
故郷を守れなかった
後悔の念で
中身がボロボロ
なんだよ!!
だから
そう易々と
自我が戻る
わけが……

いいえ
違います!!
そこまで心が傷ついたのは
故郷を愛している彼の
愛情の深さの証!!
トッ
トッ
トッ
トッ
クレスさん
あなたは誰よりも
何かを愛する心を
持っている

来るな!!
ミント!!
デミテルを倒して
四人で私たちのいた時間に戻って
ダオスを倒すの!!
はなせ!!
グウッ!!
なぜこんなに胸が……

ハッ
僕は
どうかしているんだろうか?
いないはずの存在を
探してしまうなんて
!!
クレスさん
またお弁当
作ってきたよ

狩りの休憩に食べてね
この女の子は…
うっ
…えっ
あらアミィちゃんいらっしゃい
いつもありがとね
アミィちゃん君……

兄妹がいなかったっけ？
え？ 一人っ子だよ 何でいまさら…
スキ
……違うはずなんだ 君はいつも誰かの後ろをついて歩いて… 二人で…僕に……
ガクッ
クレス!!

あなた
疲れてるんじゃ…
とりあえず
家に入りましょう
……誰？
今 かすかに
僕を呼ぶ声が…

クレス!! ここで
立ち止まってる
場合じゃないよ!!
君はこんなところで
挫ける男じゃない!
帰ってこい クレス!!
カランッ

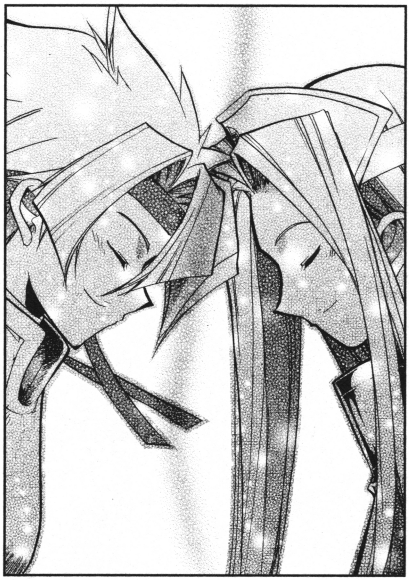
ク…
ククク……
……そうか
よくわかったよ
さっさとこの町ごと
おまえたちを消した
ほうがよさそうだ
ニィッ
!!
サモン
デーモン
ボワ
ロン
キャッ

？
私は罪無き人を
手にかけるクレスさんを
見たくない
だから
あなたと
戦います
この命に
かえても……

あなたを
助けてみせる!!
ミント!?
ただ
これだけは思い出して
クレスさん!!
私や
クラースさん
アーチェさんや
私たちを過去に
送ってくれた
モリスンさん
そして

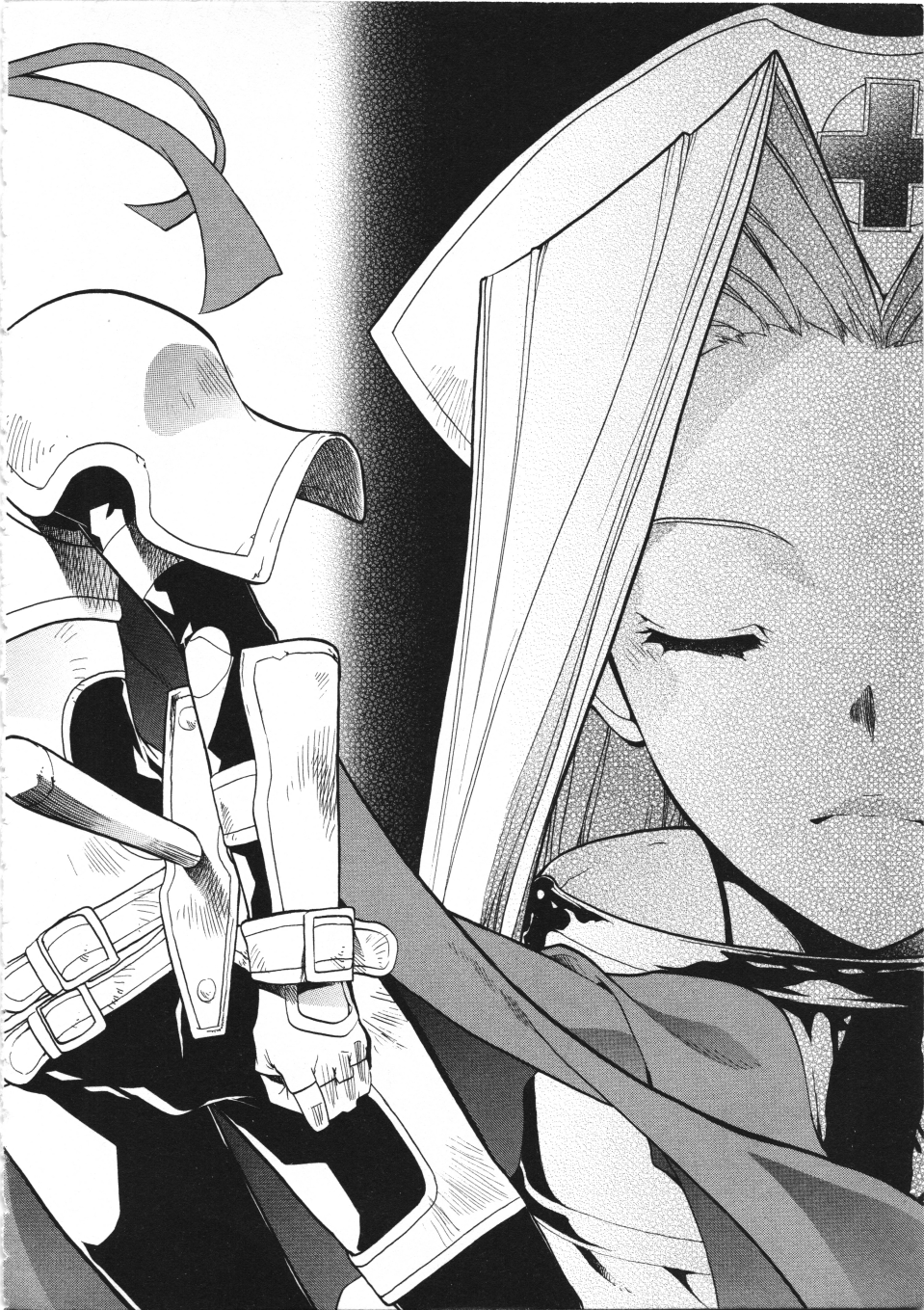
仇を討つと
誓い合った
グッ
チェスターさんの
ことを!!

クレスさん？
……チェ
チェスター……
みんな……



# TALES OF PHANTASIA

デミテルに負けるな
クレス!!
クレスさん
私たちのことを
思い出して!!
……み
みんな



第12話 絆

気がついたか…
ここが現実でないことに

気がつかなければ穏やかな日々を永遠に過ごせたものを…
だが もう遅い おまえの体はすでに
このデミテルとダオスのものだ

ごめん
父さん 母さん
僕は一人を助けられず
悔やむことで
まだ繋がっていると
勘違いしてた
でも僕には
仲間がいてくれるんだ
命をかけて
戦ってくれる仲間が
だから 剣をとります
父さんと母さんが守った
この世界を今度は僕が守る
大切な
みんなのために

フン お前に
両親の姿をした
私が斬れるかな？
もらった！

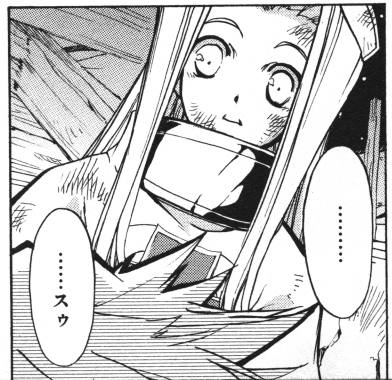
なぜだ!?

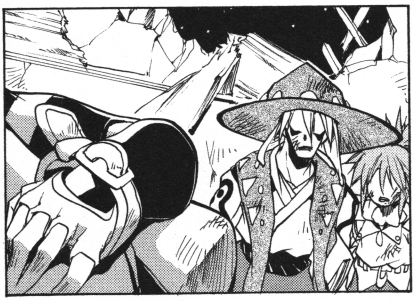
ハ
ガラ
!?
スゥ
!
〝仲間〟という力は
ダオスの力をも
凌ぐというのか――
あれは
デミテルの魂
サイクロン!!

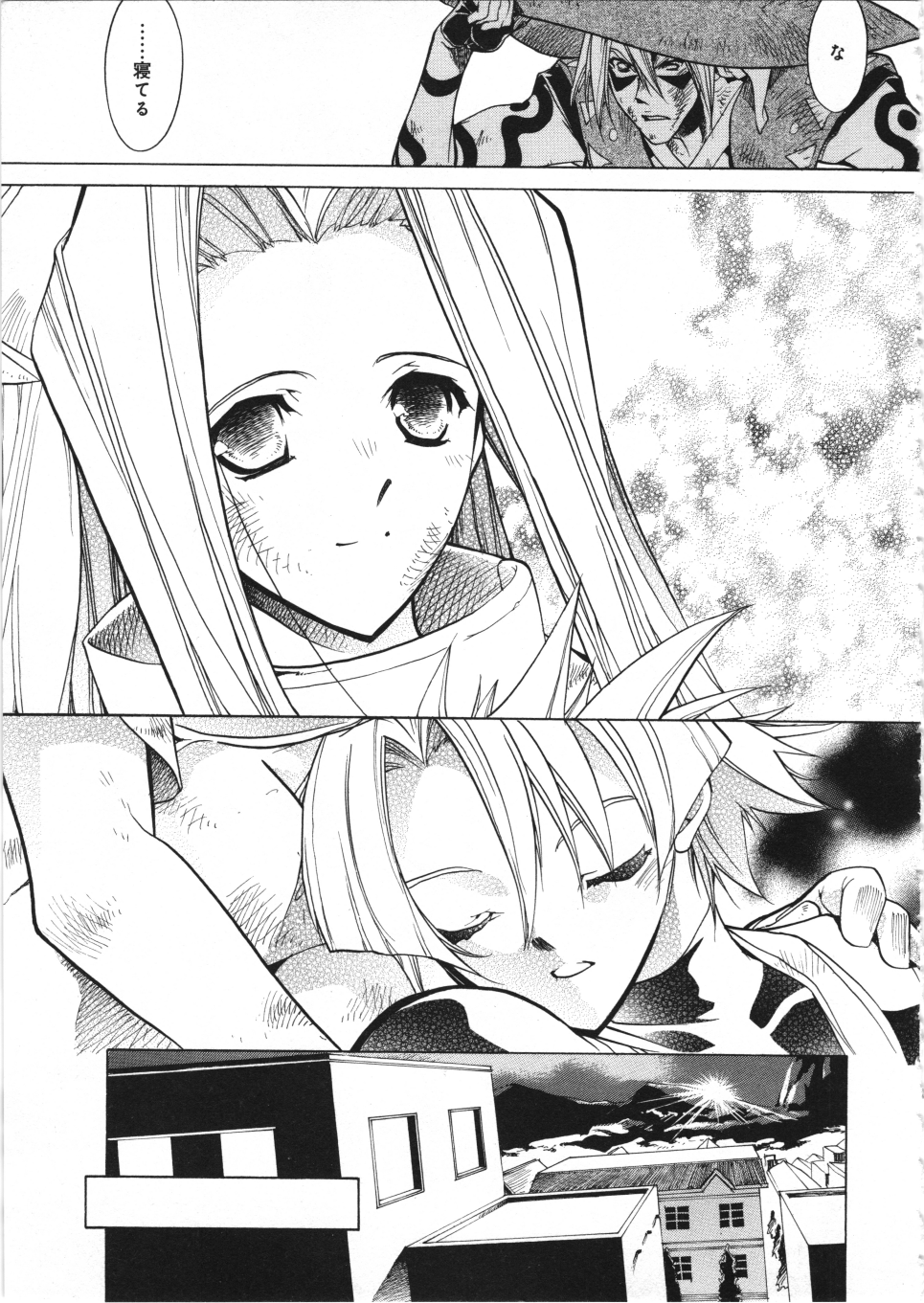
永遠に消えて
なくなれ!!
ズズ
ズズ
クレス
大丈夫か!?
……みんな
ありが……と…
ハァ
ハァ
ハァ

クレスさん!!

クレスさん？


……
……スゥ




な
……寝てる

——僕らの旅は続く
100年前の世界を飛び回り
幾多の出会いと別れを
繰り返しながら

時に立ち止まり
時に励まし合いながら
ダオスに対抗しうる
数々の精霊と
契約をした

そしてヴァルハラ戦役という
歴史的戦争に加わり
その後 モリスンさんの
血筋にあたる人の書斎で
現代に戻る手がかりを
発見した

コポ
ベネツィア沖
海中
まさか古代に
今より高度な
文明があったとは
ここが隕石の落下により
海底に沈んだ
〝超古代都市トール〟か
こんな海底に
時間転移装置なんて
本当にあるのかな

タイムワープ
デバイスドライバー起動
時間転移に要する
エネルギーの蓄積を確認
転移相対年数を
述べよ
やった！

今から102年後の地下墓地の奥
ドッ
僕とミントが過去に飛んだ瞬間へ送ってくれ!!
タイムワープスタート
ラッシュ

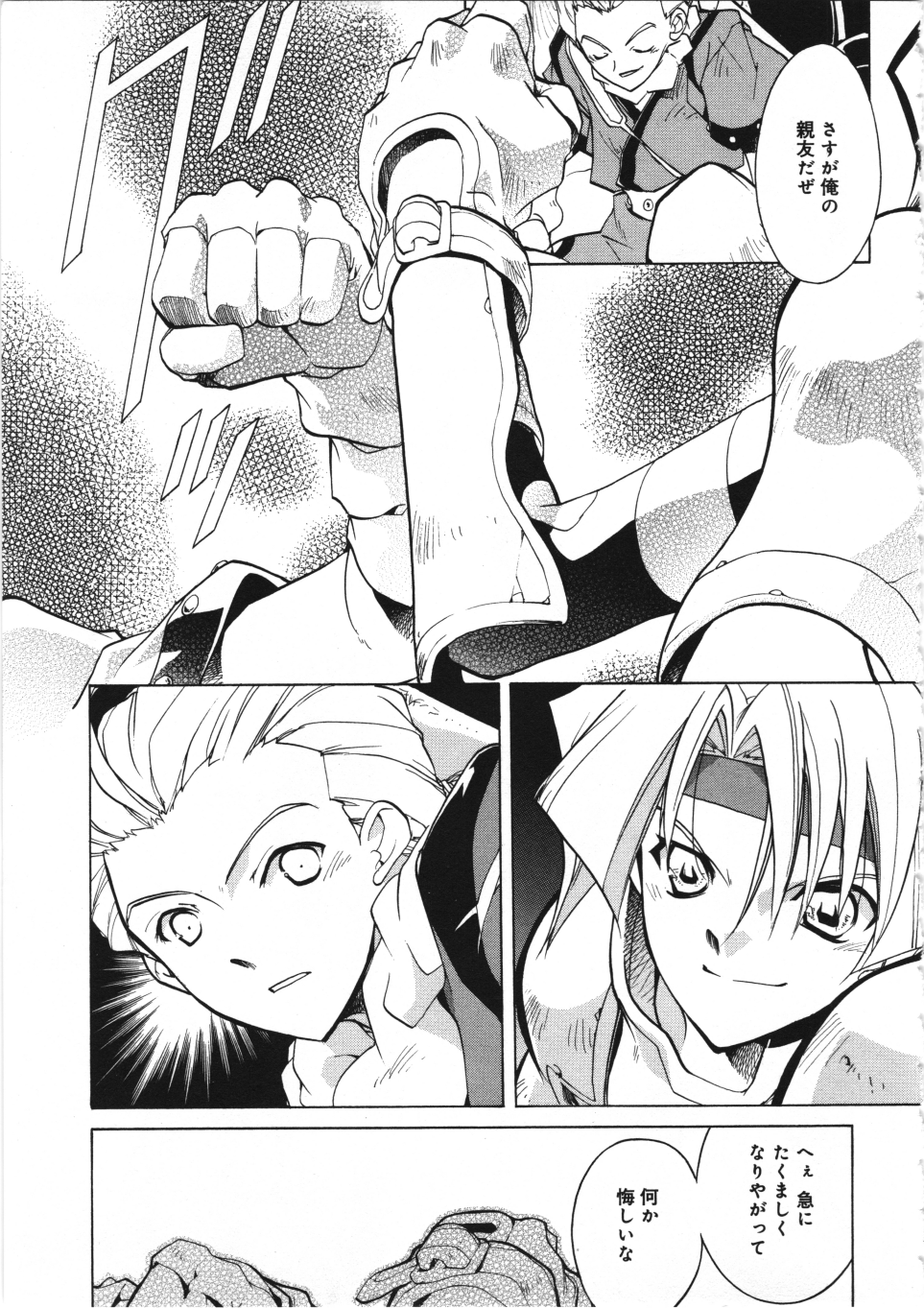
行け クレス!!
俺が一瞬でも時間を
稼ぐうちに!!
チェスター!!
ガッ
あの輝きは
時間転移か
余計なことを

古の王と
一戦交えるか…
わくわく
するぜ
消えろ

!?
なんだ!?
……ま

まさか……
バキィ

クレス！
ミント!!
仲間を
連れて来たよ


さすが俺の親友だぜ
へぇ 急にたくましくなりやがって
何か悔しいな

何度も
死にかけたからね
でも こうして
帰ってこれたのも
チェスターとみんなの
おかげなんだ
まあ チェスターから
見ればさっきまで一緒に
いたんだけどさ
……いや
わかるよ

その自信に満ち溢れている瞳を見れば
100年前にどれだけのことをしてきたのか俺だってわかるぜ
チェスター……
過去に飛んでからは私がクレスさんを支えられたらと思ってました
でも途中で気づいたんです
きっとクレスさんがいなかったら私が挫けていたと
クレスさんとだからここまでこれたんだって

だから
私は今
ダオスに負ける気が
しません
……ミント

……この日を待ってた
ダオス！ あたしの親友にしてくれた分 100倍にして返してやるからね!!
大切なみんなが支えてくれたこの召喚術への道
これも運命だとすればこれまでに出会った人々の思いその全てを召喚術にのせ戦う!!

ダオス
故郷を奪った仇
とらせてもらう
人を騙し 操り
生命を踏みにじる…
どんな理由があっても
許すことはできない!!

フン おまえらなどに
私の背負う使命を
はかれるものか
……ふむ
どの時代に飛んだか
知らぬが
精霊と魔術を
従えて来たのか……
だが
私を
見くびるな

どの程度か
試してやろう
ゴゴゴゴ
!!
……今の僕は

負ける気が微塵もしない
ただ過去で力をつけてきた
だけじゃない……
故郷が守れなかった未練で
自分に自信がなかった
あの頃とは違う
仲間がいる
それこそが僕の
最大の力だ——

僕はもう振り返らない
父さん 母さん
村(トナス)のみんな
遠くから
見ていてくれ

僕は戦う!!
自分と仲間の力を信じて

クッ!!
父さん　母さん——

みんな――!!
クレス行け――っ!!
おおお!!

仲間も世界も

おまえの
好きには
させない!!

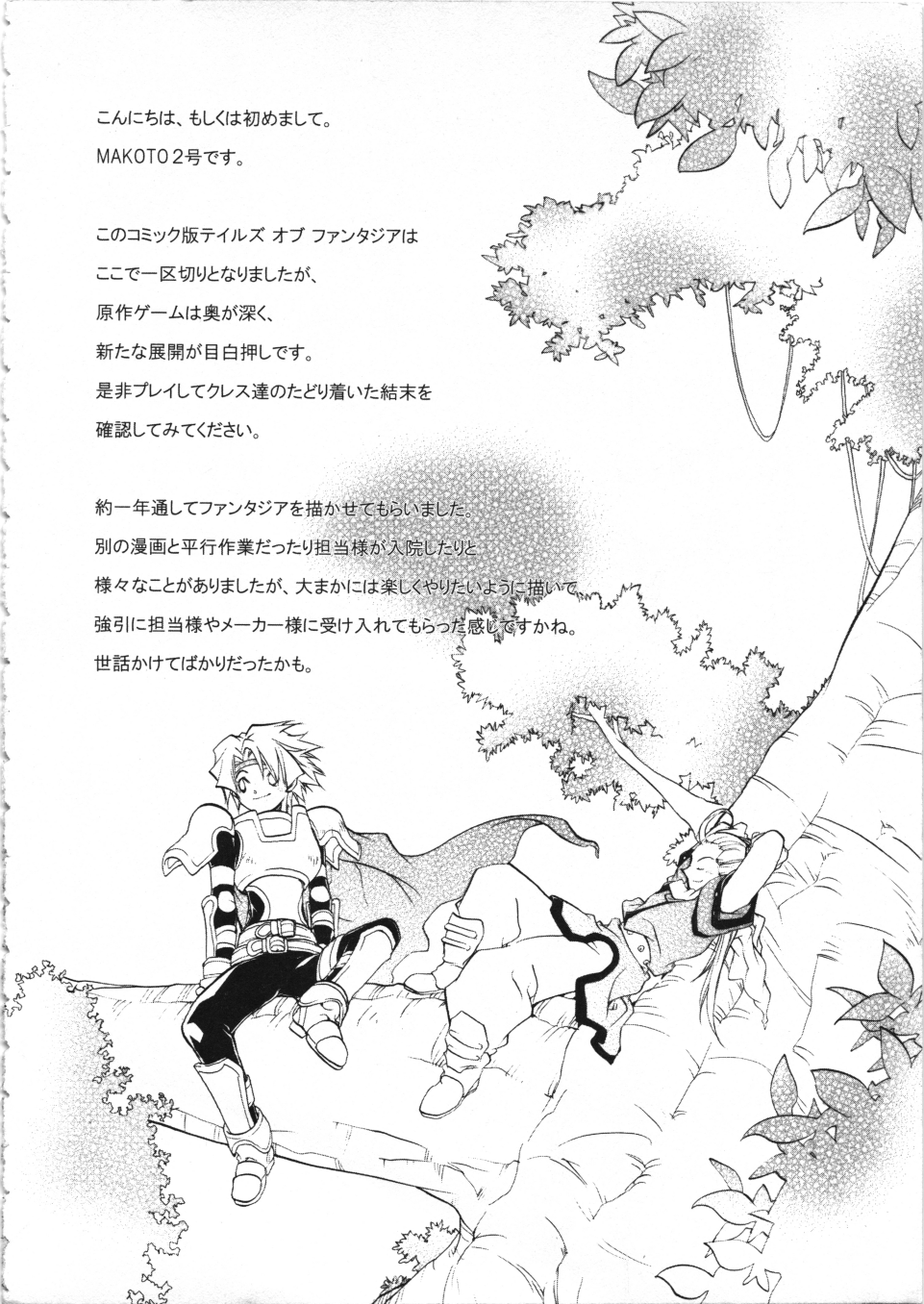
僕は
走り続ける——
Fin.

# TALES OF PHANTASIA

こんにちは、もしくは初めまして。
MAKOTO２号です。

このコミック版テイルズ オブ ファンタジアは
ここで一区切りとなりましたが、
原作ゲームは奥が深く、
新たな展開が目白押しです。
是非プレイしてクレス達のたどり着いた結末を
確認してみてください。

約一年通してファンタジアを描かせてもらいました。
別の漫画と平行作業だったり担当様が入院したりと
様々なことがありましたが、大まかには楽しくやりたいように描いて
強引に担当様やメーカー様に受け入れてもらった感じですかね。
世話かけてばかりだったかも。



とにもかくにも最後までお世話になりました、

担当様、メーカー様。

アシストしてくれたルナさん、T28さん、カレー君、玉さん。

読んで頂いた皆様。

本当にありがとうございます。

ここまで来て見れたものは、かけがえないものばかりです。

またなにかしらの形で会えたらとおもいます。では。

2009.12 MAKOTO 2号

**Kadokawa Comics A**

角川コミックス・エース

テイルズ オブ ファンタジア②

漫画
MAKOTO2号（マコトにごう）

原作
バンダイナムコゲームス

2010年1月26日初版発行

発行者
井上伸一郎

発行　株式会社角川書店
〒102-8078 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8719(編集)
発売　株式会社角川グループパブリッシング
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8521(営業)
http://www.kadokawa.co.jp

装幀・デザイン
LIGHTNING

印刷
大日本印刷株式会社

製本
本間製本株式会社

初出／『テイルズ オブ マガジン』'09年Vol.8～Vol.14

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。落丁・乱丁本は、ご面倒でも角川グループ受注センター読者係宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。
この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

2010 KADOKAWA SHOTEN, Printed in Japan

©Makoto2go 2010
©藤島康介 ©NBGI

ISBN978-4-04-715383-7 C0979

# TALES OF PHANTASIA

# TALES OF PHANTASIA

9784047153837

1920979006409

ISBN978-4-04-715383-7
C0979 ¥640E

定価：本体640円（税別）
発行：角川書店
©藤島康介 ©NBGI

# TALES OF PHANTASIA

今は亡き父母の友人、モリスンの術によって、
100年前の世界へと送られたクレスとミント。
誰ひとり知るもののいない世界で、
魔王ダオスを傷つけることのできる唯一の手段「魔術」を
行使できる人物を探し、旅を続けるが……。
――時空を超えた仲間との出会いが、ダオス打倒の力となる!!